

「令和8年度 秋の農作業安全運動」取組事項

1 重点指導事項

(1) とやま GAP 規範に基づく事故の未然防止対策

- ・コンバインやトラクタなどの転倒・転落事故を未然に防止するため、農場や用水路の危険箇所を事前に把握し、草刈りの実施や路肩の補強、目印を設置するなど改善に努める。
- ・余裕をもった作業計画を立て、複数人での作業を心がける。
- ・持病がある場合や体調不良時は作業を避ける。
- ・各作業に応じた服装、保護具を着用する。(ヘルメットやシートベルトの着用等)
- ・機械等の使用前に、正しい使用方法を再確認し、作業者全員に周知する。

(2) 事故発生時の備え

- ・緊急連絡先を整理し、作業者全員に周知する。
- ・労災保険や任意保険に加入する。

【参考】とやま GAP 規範（農作業安全対策）

規範項目 13「労災保険等への加入」
規範項目 22～23「機械・装置・器具等の適正な管理、使用」
規範項目 24「危険を伴う作業の把握及び改善」
規範項目 25「危険を伴う作業に対する制限」
規範項目 26「安全作業のための服装や保護具の着用・管理」
規範項目 27「安全な草刈りの実施」
規範項目 55「施設の適正な管理・運営ルールを作成」



とやま GAP 規範の
規範項目は、コチラ
から確認できます。

2 個別作業機に係る指導事項

(1) コンバインの使用

- ・衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用する。また、手袋は使用しないか、手に密着したものを着用する。
- ・詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切る。
- ・後進時には、死角が多いので補助者による誘導や確認を行う。
- ・緊急停止装置や手こぎ作業時の安全装置が正しく動作するか確認する。

(2) 乾燥調製機械

- ・火災防止や品質確保のため、乾燥機等の使用前には、点検整備を徹底する。

(3) トラクタの使用

- ・安全キャブや安全フレームがついた機体を使用する。
- ・昇降路の出入りや公道走行の際は左右ブレーキペダルを必ず連結する。
- ・作業機の取替・修理・点検時は、油圧ロックやスタンド等で機械を安定させ、本機と作業機の間や、作業機の下には入らない。

3 熱中症対策

- ・暑さ指数や熱中症警戒アラート情報を活用し、熱中症リスクが高いと予想される場合は、激しい作業を避ける。
- ・屋外の作業では、帽子や熱を逃しやすい衣服の着用や保冷剤等により体を冷やす。
- ・屋内の作業では、必要に応じ送風機やスポットクーラーなどを利用する。
- ・こまめに水分と塩分を補給し、休憩時間を確保する。
- ・作業はできるだけ複数人で行い、時間を決めて体調確認を行う。
- ・熱中症が発症した際に適切に対応ができるよう、早期発見のための体制整備、重篤化を防止するための措置の実施手順（対応フロー）の作成を行う。

令和 8 年度

秋の農作業安全運動

実施期間 8月20日～10月20日



あなたも農作業中に「ヒヤリ」とした経験はないですか？
農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底しましょう。

【農作業事故防止対策】

- ① コンバインやトラクタの転倒・転落を防ぐために、農場の危険箇所や危険な作業を事前に把握し、改善に努める。
- ② 余裕をもった作業計画を立て、複数人での作業を心がける。
- ③ 各作業に応じた服装、保護具を着用する。
- ④ 機械等の使用前には点検整備を徹底する。また、正しい使用方法を再確認し、作業者全員に周知する。

【コンバイン使用時の注意事項】

- ① 衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用する。また、手袋は使用しないか、手に密着したものを着用する。
- ② 詰まったワラを取り除く時は必ずエンジンを切る。
- ③ 後進時には、死角が多いので補助者による誘導や確認を行う。
- ④ 手こぎ作業時の緊急停止装置等が正しく動作するか確認する。

【熱中症対策】

- ① こまめな休憩と水分・塩分補給を行い、絶対に無理をしない。
- ② 熱中症対策アイテムを活用する他、単独作業は避ける。

